



ウルル カタ・ジュタ国立公園



オーストラリアの3万人のロータリアンは、それぞれ地元のロータリー・クラブに所属しています。オーストラリアに1100カ所以上のクラブがあり、各クラブはクラブ会長を率いて、多くのクラブ事務所の社員によって内部的に支えられています。大統領の地位は毎年7月に変更され、ロータリアンが一步踏み出し、指導者としての経験を得る機会を提供します。クラブは独立して運営されていますが、多くの場合共同プロジェクトに取り組み、大きなイベントを祝うために集まります。

世界遺産とメイキャップ



遊牧民のEクラブ
オーストラリア東部の数千平方キロメートルに広がり、ロータリアンはノートパソコン、タブレット、スマートフォンを使い、遠隔会議アプリケーションを使ってRVから毎週クラブミーティングにログオンします。メンバーは、ジャンパー、奉仕プロジェクト、募金活動のルートを、彼らのクラブや彼らが旅行中に訪れるクラブと一緒に活動することを計画しています。



● 会長挨拶

会長 堀内満喜子君

会員増強について

連日30度を超える真夏日が続いています。熱中症にならない為に水分を小まめに飲むように心がけましょう。特に就寝中のかくれ脱水症状はとても危険ですので、寝る前にコップ一杯のお水(200ml)に0.5g位の塩を混ぜてさらに砂糖を8gほど加えた飲み物を飲むと、水と塩分の吸収が高まって良いそうです。

日大三島高校に7月4日の例会後、加藤青少年奉仕委員長と勝又幹雄委員、そして佐藤幹事と私とで訪問しまして、活動費10万円を校長先生にお渡しいたしました。インターアクトの活動に対し、三島RCも今年度はもう少し関わられるようお話しいたしました。

今日の例会後にも知徳高校へ加藤青少年委員長と私と2人で訪問する予定です。

7月14日(土)には、地区会員増強・維持セミナーに西原ガバナー補佐、青田会員増強維持委員長と私3人で富士吉田まで行ってまいりました。

地区では会員減少が止まらない現状をどのように増強していったらよいのかというディスカッションを含めたセミナーでした。その中で2780地区のふじさわ湘南RCの相澤光春氏の講演があり、2780地区はここ数年会員が増強していると仰っていました。その理由は、エンドポリオNOWキャンペーン等の活動をしていて、地区全体で去年は38回活動をしたそうで、会員増強をするには戦略計画を立て、自分のクラブのどこに特徴がありどこが良いのか、それを会員が自覚することが大切だと思います。また、クラブの活動が広報につながり、ロータリーを知っていただけるのではないでしょ

うか？

「ロータリーは素晴らしい」その結果、会員増強につながるということです。もう少し詳しいお話は、青田会員増強維持委員長にお話ししていただきたいと思います。

● 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	36/43	83.72%	41/43	95.35%
今回	35/42	83.33%	会員総数:46名	

<欠席者>

- ・河田君 ・木下君 ・古口君 ・杉村君 ・関君 ・高木君
- ・高原君

● 幹事報告

幹事 佐藤浩美君

- ①本日、定時総会・クラブ協議会・委員会計画発表です。
- ②7月15日(日)静岡新聞に三島ロータリークラブ理事役員・ガバナー補佐の名前が記載されました。公共イメージ向上・広報委員会の皆様ありがとうございました。
- ③委員会報告にて、IM実行委員長・小沼君、総務部長・中山君より報告があります。
- ④RI第2620地区ガバナー候補者推薦の件、何方か推薦したいという方がいる場合、ご連絡ください。
- ⑤例会終了後、インターアクト活動資金、寄付に知徳高等学校に堀内会長、加藤新世代委員長の2名で訪問されます。
- ⑥8月5日(日)富士山のふもと文化祭の宣伝おねがいします。チラシをお渡しいたしますので、お声掛けお願いします。
- ⑦来週は、夜間例会です。



クラブ会長指針
想いを形にしよう!

RI会長 バリー・ラシン
インスピレーションになろう

委員会計画発表

クラブ会報委員会

委員長 伊丹克明君



2018年～2019年度の例会、諸行事、委員会報告、出席率を週報に記載致します。表紙(表面)の上段においては、歴代の委員長がすばらしい企画で導入部分を飾っているので、私も負けずにがんばります。

毎年のお願いになると思いますが、卓話や委員会報告など、できる限りデータ入稿をお願いし、編集の省力化へご協力お願い致します。

親睦活動委員会

委員長 山本雅弘君



三島ロータリークラブの、素晴らしいメンバー、伝統、真面目さ、そして年齢を超えた友情は貴重です。昨日お会いした他クラブの元ガバナー補佐からも、当クラブが若い会員を増やしていることを羨ましがられました。

私はこれまで忙しさにまかせて、出席率が悪くご迷惑をおかけしていましたが、委員長を仰せつかったこの1年間は、極力休まず出席し、皆様の友愛をはぐむ潤滑剤になるべく努めたいと思います。(しかしながら毎月第一水曜日は、先日の卓話でお話した事情で欠席することとなり、大変申し訳ありません。)

まだ会員になって年数も浅く、わからないことも多々ありますが、勉強しながら、できるかぎり楽しい親睦の場を提供してまいります。1年間メンバーと共に頑張ります。宜しくお願いします。

プログラム委員会

委員長 山田敏博君



2018年度プログラム委員会といたしましては会長、幹事、親睦委員会と連携を取り、スムーズな例会の進行を心掛けていきます。

卓話については、ロータリー月間、地区の年間予定に、できるかぎりリンクさせ関連委員長にテーマに沿った卓話を

お願いします。

ゲストをお招きしての卓話も数回程度、その時々々のタイムリーな内容で、講話をお願いする予定です。

プログラムの内容を刷新するよとのことだったので、会員の皆様に興味をもって出席していただけるような内容を思考しながら進めていきたいと思ひます。

また、会員の皆様にはスムーズな例会の進行にご協力をお願いいたします。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 中山章一君



奉仕プロジェクト委員長の中山です。本委員会は、職業奉仕委員会の土屋委員長、社会奉仕委員会の杉山委員長、国際奉仕委員会の星合委員長、そして青少年奉仕委員会の加藤委員長と共に、ロータリー活動の要であります奉仕

プロジェクトを進めてまいります。本来クラブフォーラムとして、奉仕各部門ごとの討論会等の開催を主導しなければならないのですが、今年度はそれに代わるプロジェクトを企画しております。奉仕部門各委員の皆様にはお手伝いをお願いいたします。

各奉仕プロジェクト委員長の皆様には、ロータリー活動の根幹を見据えた活動計画を立てていただいております。実現に向けて精一杯サポートしていきたいと思ひます。

職業奉仕委員会

委員長 土屋賢太郎君



「職業奉仕」は難解であると感じることがあります。「職業」という「自己のため」の語と「奉仕」という「他人のため」の語が組み合わせられているところにより難しさを感じます。そのため、本年度の職業奉仕委員会では、「職業奉仕」、「職業を通じて社会に奉仕する」という言葉の理解を深めるため、会員による職業に関するスピーチや優良事業所の見学等を行いたいと考えております。

諸活動に対し、皆様の御支援・御協力を宜しくお願いいたします。

社会奉仕委員会

委員長 杉山 潔君



ロータリーにおいては、綱領に明記された「奉仕の理想」とされる①職業奉仕②社会奉仕③国際奉仕④青少年奉仕の四大奉仕活動をクラブの「理念及び実践の枠組」としております。故に、今回は「社会奉仕」と「国際奉仕」の両委員会

の合同セミナー開催となり、我が国だけではなく、国際的な奉仕活動を含め、幅広い分野での活動を見据えてのセミナーであると考えております。

合同セミナーは、9月2日(土)に富士河口湖・富士レークホテルで開催予定です。講演を、地域社会を元気にするプロジェクトを広めている、ヤフー株式会社の内藤剛さんに、また女優の大塚良重さんには、日本ロータリーの創始者・米山梅吉翁のひとり芝居(語り)をして頂く内容となっております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会

委員長 星合義弘君



本年度、地区目標の5番目に、地域社会のために奉仕活動をする事を通じて『ロータリーの公共イメージの向上』を図ろう。と、書いてありますが、ロータリーが有名にならないのは、お金は出すけど 身体は動かさない。奉仕した

後にPRをしない。イコール、ロータリーって何の団体なの？ってことになってしまっている状態です。これから我々は、『奉仕は皆で、一緒に楽しく汗を流し、継続し、PRする事』。身体を使わない場合でもせめて奉仕の後はPRすることが大事だと思ひます。

本年度は当委員会では、友好クラブとの交流に力を注ぎ、台湾新竹ロータリーを訪問し、友好を深めたいと思ひます。

青少年奉仕委員会

委員長 加藤頌吾君



青少年奉仕委員会では、青少年の健全・育成に関する地域社会の活動に参加・協力します。また、日本大学三島高等学校中学校・知徳高等学校のインターアクトクラブが年間を通じて活動しやすいように支援・協力します。

今年度は、ロータリアン・顧問先生連絡会を2018年6月16日(土)富士市交流センターで行いました。

○インターアクト年次大会2018年7月29日(日)・30日(月)ニューウエルサンビア沼津で、ホスト校沼津中央高等学校・提唱クラブ沼津北RC

○指導者講習会2018年11月18日(日)甲府商業高等学校で、ホスト校甲府商業高等学校・提唱クラブ甲府南RCインターアクトクラブ年鑑を地区ホームページに作成、随時各IACの顧問先生に更新を依頼しています。また、青少年奉仕事業に関する危機管理体制等の諸活動についても、皆様の御協力を頂きますように宜しくお願い申し上げます。

会員増強委員会

委員長 青田守弘君



先日7月14日(土)に、2620地区会員増強・維持セミナーに行きまして。記念講演として2780地区パストガバナーで、ふじさわ湘南RCの相澤光春氏が、「ロータリー戦略計画と会員増強・維持」と言うテーマでお話をされました。

で、その内容に驚かされました。

「ロータリーの会員増強・維持には、ポリオ撲滅活動が有効である」とおっしゃるんです。会員増強にポリオ撲滅が有効？そんな疑問を抱きながら講演を聞いていました。

さて、このセミナーを受ける前に作成した、計画書の記載内容を説明させていただきます。

1.目標

星野喜忠ガバナーによる地区目標の達成

・純増2名以上(40名以上のクラブ)

2.方針

①ロータリーに対する理解を深める

・ロータリーの目的を下記5項目と考え、入会候補者の理解と興味の推進に努める

第1/ロータリーの目的は、個人と職業を互いに磨き合うことにある

第2/ロータリーの目的は、知り合いを広める機会とすること

第3/ロータリーの目的は、お互いの職業をより高潔なものに育む機会とすること

第4/ロータリーの目的は、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する機会とすること

第5/ロータリーの目的は、これらの恩恵として社会奉仕を自らも実践すること

★これを、例会の時に全員で唱えるとか、堀内会長に作曲してもらい三島ロータリーの歌として合唱するのもいいかもしれませんね。

とにかく、ロータリーに対する理解を深めることが大切となります。

②とにかくしつこい勧誘

「1,3,5戦略」

1人、3人、5人とホップ、ステップ、ジャンプでだんだん多くの仲間が協力して勧誘

する。異業種の人と接触する機会が持て、知り合いを広めることの楽しさを感じていた

だき入会に導く。

③年配者の大会を防ぐ

長い間RCでご活躍されている諸先輩の末永いご健康をひたすらお祈りする。

おかげさまで、会員増強委員以外の方からもすでに何人かの新入会員候補者を挙げていただいております。早急に「1,3,5戦略」を実施し、入会実現を目指したいと思えます。

さて、ポリオ撲滅運動がなぜ会員増強維持に役立つかというお話に戻ります。

それは、一言でいうと、「奉仕活動を通じてロータリーのイメージ向上を図ること」。

奉仕活動を通じて広くロータリーの高潔な存在意義を伝え、ロータリーって素晴らしい団体だ、ぜひ自分も仲間に入りたい。という気持ちになるよう世界の人々の心を動かす。それが、会員増強・維持につながる。という趣旨のようでした。

そこで、ポリオに限らずロータリーのイメージ向上のために各クラブで戦略を立てなさい。というお言葉がパストガバナー志田洪顯(ひろあきら)様からありました。

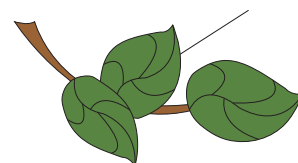
楽しいプログラムを考え、例会を工夫し、イメージを向上させ、積極的に広報活動を行う。その戦略を考えなさい。と語っておられました。

要するに、会員増強・維持はその委員会だけの問題でなく、そして1年単位の話でもなく3年位の目標で、現在、未来の会長も含めプログラム、奉仕プロジェクト、公共イメージ向上、広報など各委員が全力で立ち向かわなければならぬテーマであるとのことのようにです。

現在、入会促進のための内部規定の見直しを役員会議で検討いただいております。

役員会議の議題に常に会員増強・維持の戦略、進捗状況の確認が必要なかもしれません。

とはいえ、今年の会員増強・維持のメンバーは強力です。河田君、山本君の若手。年中組の杉村君。そして、年長小野徹君。私はさておき彼らがいて目標達成ができないわけありません。でも、もっと強力なのは皆さんひとり一人の応援です。ぜひ目標達成のために皆さんのお力をお貸しください。★清き一票をお願い致します



● 会員祝事

会員誕生日：八木貴夫君 松田吉嗣君
入会記念日：西原孝次君 浅倉幸久君
奥様誕生日：加藤頌吾君 杉山 潔君
結婚記念日：山田敏博君

スマイルBOX

● 中山 章一君

7月15、16の両日、浅間芝岡神社・水祭りをにぎやかに行いました。提灯スポンサーの三島駐車場様・シード様・加和太建設様ありがとうございました。

● 山岡 修一君

①オイスカのオファーで7/29～8日間フィジーでマンダリン植樹、サンゴ礁保全の活動に行ってきます。

②西日本豪雨災害、何故か我家に高圧洗浄機20台(新品購入)やタオル等の支援物資や義援金が集まって来て、来週から岡山・広島に行くことになりました。

ROTARY NEWS

国際ロータリー バリー・ラシン次期会長の願いは ロータリアンが「インスピレーション」になること

国際ロータリーの今年度会長バリー・ラシン氏(バハマ、イーストナッソー・ロータリークラブ所属)がロータリーの未来のビジョンについて語り、会員や地域の人びとへのインスピレーションとなって、次世代のために持続可能な活動を行うよう次期リーダーに呼びかけました。

ラシン会長は、米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて2018-19年度テーマ「インスピレーションになろう」を発表。「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのです」

ロータリーの新しいビジョン声明は、次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。ラシン氏は、このビジョン声明の意義を強調し、声明がめざすロータリーを実現するためにリーダーシップを発揮するよう求めました。

ビジョンの実現にはまず組織づくりが必要だと、ラシン氏は強調します。「ロータリーは第一に会員制組織です。ですから、奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、まずは会員を大切にしなければなりません」

「変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせていただきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事です」

ポリオ撲滅の進展

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動である、とラシン氏は述べ、過去30年間に成し遂げた顕著な進展に触れました。1988年には野生型ポリオウイルスによって推定35万人が身体まひを患っていましたが、2017年に報告されたポリオ症例数はわずか21件。「今がポリオ撲滅活動の正念場」と語り、「新規症例があるたびに、それが史上最後の症例となる可能性がある」と述べました。

ただし、最後の症例が報告されても仕事が済んだわけではない、とラシン氏は強調します。「撲滅認定委員会がポリオ撲滅を正式に認定するまで、すなわち3年間、川や下水、または人の体内からポリオウイルスが一切発見されなくなるまで、ポリオ撲滅活動は終わらないのです。……それまでは、今行っているすべてのことを続けていかななくてはなりません」。こう述べたラシン氏は、予防接種活動やサーベイランス(監視)に引き続き力を入れていくことの重要性を訴えました。

環境の持続可能性を守る

さらにラシン氏は、近年、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視していることに触れ、環境汚染や気候変動という厳しい現実をロータリアンが認識すべきであると述べました。祖国バハマの土地の80パーセントが海拔1メートル以下であることも指摘。2100年までに海面が2メートル上昇すると推定されており、「私の祖国は、ほかの多くのカリブ海諸島や、世界中の沿岸都市や海拔の低い地域と同様、50年後にはなくなってしまう」と懸念します。

ロータリーのすべての奉仕活動を、より大きなグローバルなシステムの一部としてとらえるよう、ラシン氏は呼びかけました。これは、次期地区ガバナーが、クラブだけでなく、地域全体にとってのインスピレーションとなる必要性を意味する、と述べます。「持続可能な活動成果をもたらす、世界をより良くしたいと私たちは願っています。ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人たち、あらゆる世代のために、私たちにできることがあるのです」